



● 保護者はなぜ携帯電話を子どもに持たせるのか？

小学生保護者の通話より「いま帰ったと？遊びに行くの？

ケータイ持って行っときいーよ！」

安全を考えると携帯電話を持たせている保護者が大部分です。

安心 いつでも連絡が取れ、GPS機能等で居場所までわかる。

楽しい 離れていても通話やメールが対話できる。子どもの撮った写真や動画がみられる。携帯電話の高い出費以上に利点があるようです。多くはこのように楽しく快適に使っています。

中学生のほしいものNO1はケータイです。

小中学生の携帯電話利用

● 携帯電話を使つての問題は？

- ・ 有害サイトやネットいじめは 『社会問題』に。

- ・ 迷惑メール DM（ダイレクトメール）、クリック詐欺、架空請求など

チェーンメール 実在する暴力団を名乗る・RH マイナス血液・犯人捜し等

- ・ プロフ（自己紹介プロフィールサイトの略）

- ・ ブログ（日記風サイト・小2のサイトあり）

中3女子では6割以上が持っている

- ・ 掲示板（電子掲示板・BBSとも言う）

との調査結果あり

※だれでも書き込みができるので「出会いの場」へ

- ・ プリクラ投稿サイトやゲームサイトなどでの出会いが増えています

- ・ メル友 会ったこともない人も3名以上もいる との調査結果もあり

- ・ 逮捕や書類送検、損害賠償請求・裁判など多数

- ・ 請求額 ケータイ小説で4万円以上の情報料など（問題点全て紹介できません）

参照→文部科学省が全国の6年生を対象に配布を薦めた「ちょっと、待って ケータイ」

このリーフレットにはケータイの事件等わかりやすく紹介されています。

（文部科学省ホームページよりダウンロードならび印刷可）

●まとめ

携帯電話は「通話専用の電話」ではなくなりました。機能が格段に向上し、「携帯情報端末」＝「メディア」の一つとなっています。子どもたちの大好きなテレビやゲーム機・パソコンなどと同じです。子どものケータイ使用にあたって、保護者は子どもと一緒にルールを作り、マナーなど教えていかななくてははいけません。また、保護者・地域・学校・子どもをとりまく社会全体からの教育が必要ではないでしょうか。